



# News Letter No.10

第8回 日本シニア小児科医連盟 総会・講演会

## WEB開催のお知らせ

2022年4月15日(金) 17:30~19:30

### 内容

#### 1. 第8回大会開催にあたり

福島県立医科大学 名誉教授  
鈴木順造

#### 2. 代表幹事挨拶

東京慈恵会医科大学 名誉教授  
衛藤義勝

#### 3. 抄録

前日本小児科医会会長  
松平隆光

広島赤十字病院・原爆病院  
西 美和

#### 4. 幹事名簿

### 第8回日本小児科医連盟学術会議開催にあたり

第8回日本小児科医連盟学術会議の世話人を務めさせていただきます福島県の鈴木順造です。本年開催されます第124回日本小児科学会学術集会を福島県立医科大学小児科学講座の細矢教授が福島県郡山市において開催されることから、本会の代表世話人である衛藤先生より、郡山市での本会開催を依頼されました。

今年は、「こども庁(こども家庭庁)」創設の予定ですが、行政がすべての妊産婦、子育て期の家族にワンストップで切れ目のないサポートを提供し、それにより育児不安や虐待を予防することを目的としたフィンランドの「ネウボラ」を中心に、将来世代のためになる子育てや支援策などを前日本小児科医会会長松平隆光先生にお話をさせていただきます。

また、西美和先生は現在も広島赤十字病院・原爆病院でお元気にご活躍されております。第一線で45年間の長きにわたって多くの疾患を診てこられました先生に、子どもの成長・発達と内分泌疾患を多角的な面から概説していただきます。

COVID-19の影響でWeb開催になり、1時間と短い時間ではありますが、お二人の先生のお話をご堪能下さい。そして、母子保健の向上並びに子どもたちの健康増進に貢献できることを願っております。宜しく願いいたします。

福島県立医科大学 名誉教授

公益財団法人福島県保健衛生協会 会長 鈴木順造

## 第8回 日本シニア小児科医連盟 総会 & 学術会議

事務局幹事 衛藤義勝

### ご挨拶

第125回日本小児科学会(会頭 福島県立医大 細谷光亮教授、福島県立医科大学小児科)が2022年4月15日(金)～4月17日(日)にビッグパレットふくしま、郡山ビューホテルアネックスで開催されるのに合わせ、4月15日(金)に第8回日本シニア小児科医連盟総会・講演会をWEBで開催させていただきます。

皆様宜しくご参加のほどお願い致します。

今回は福島県立医科大学 鈴木順造先生に会長をお願いし、松平隆光先生(前日本小児科医会会長)と西美和先生(前広島赤十字病院・原爆病院小児科部長)にご講演を頂きます。

最後に、この日本シニア小児科医連盟会議を通じて、少しでも我が国の子どもたちの福祉、健康の増進並びに母子保健の向上に貢献できれば幸いです。

多くの皆さまのご参加をお願い致します。

### 第1回から8回までの世話人・ご講演演者

第1回 世話人 衛藤 義勝  
講演:安次嶺 馨、山城 雄一郎

第5回 世話人 松石 豊次郎  
講演:松石 豊次郎、仁志田 博司

第2回 世話人 清野 佳紀  
講演: 清野 佳紀、中畑 龍俊

第6回 世話人 小泉 晶一  
講演:小泉 晶一、横谷 進

第3回 世話人 山城 雄一郎  
講演:山城 雄一郎、吉岡 章

第7回 世話人 伊藤 進  
講演:伊藤 進、衛藤 義勝

第4回 世話人 児玉 浩子  
講演:児玉 浩子、藤村 正哲

第8回 世話人 鈴木 順造  
講演:松平 隆光、西 美和



今回の会議は、ZOOMによる会議となります

**【日時】** 2022年4月15日(金)  
17:30～19:30 (第125回日本小児科学会第1日目)

**【アドレス】**

[https://zoom.us/j/95444013988?pwd=bIRiZWdSaERTc1BsT3pwaXI  
DQjM0QT09](https://zoom.us/j/95444013988?pwd=bIRiZWdSaERTc1BsT3pwaXI<br/>DQjM0QT09)

ミーティングID: 954 4401 3988

パスコード: 688217



◆プログラム◆

17:30～18:00 総会  
18:00～19:30 講演会

講演1 松平 隆光 (前日本小児科医会会長)  
“ネウボラとは”

講演2 西 美和 (前広島赤十字病院・原爆病院 小児科部長)  
“45年間の小児内分泌外来で経験した注意すべき疾患を中心に”



### 3. 第8回シニア小児科医連盟 講演抄録

#### 講演1. 松平隆光(前日本小児科医会会長)

##### 1. ネウボラとは

フィンランド語で「Neuvo」は情報、アドバイスを意味し、「-la」は「場所」を表す接尾語、つまりネウボラ(Neuvo)とは「アドバイスを受ける場所」である。ネウボラは、母親の妊娠から子どもの就学前まで、母子の疾病予防と心身の健康保持を目的とする施設といえる。フィンランドのネウボラ活動は、1920年小児科医のアルヴォ・ユルッポ医師によってスタートした。スタート時の1920年代乳幼児の疾病対策が主な目的であったが、1944年、母子保健に関する法律に基づきネウボラの設置が義務化され、1949年には全国に広まり定着した。その後、母子保健の充実のみでなく、仕事と子育ての両立を目指した社会環境を作り、出生率向上にも大きく寄与することになった。ネウボラを利用することは義務ではないものの、現在、ネウボラの利用率は99%を超え、ほぼすべての妊婦や子どもをここで支援している。ネウボラには、妊娠期から周産期に対応する「出産ネウボラ」と周産期から就学前(0~6歳)までに対応する「子どもネウボラ」がある。しかし最近では、妊娠中から就学前まで同じネウボラ保健師が、母子および(父親や兄弟等を含む)家族全体を継続的に支援する「出産・子どもネウボラ」への動きが広がっている。

通常、ネウボラ保健師1名につき、妊娠期(出産ネウボラ)では、年間約50名の妊婦を担当、出産後(子どもネウボラ)は年間約400名の子ども(乳児期から就学前)とその親・家族を担当している。現在、フィンランドのネウボラは全国に約800か所あり、各施設には約7名の保健師が常駐し、1施設当たりの年間予算は約1億円と聞いている。分娩はネウボラではなく病院(大半が公立病院)であるが、病院との連携・情報共有(個人情報保護が前提)を通じて、切れ目のない支援を可能としている。

#### 講演2.

##### 西 美和 (広島赤十字病院・原爆病院 小児科部長)

「45年間の小児内分泌外来で経験した注意すべき疾患を中心に」

##### ① 成長ホルモン(GH)分泌不全性低身長症には、

- 1) GH分泌不全性低身長症(脳の器質的原因によるものを除く)
- 2) GH分泌不全性低身長症(脳の器質的原因によるもの)

があり、特に2)の中の「下垂体低形成」が見逃されている

小児期のGH単独分泌不全性低身長症の大部分が、成人期ではGH分泌能が正常化する理由は？

→「下垂体低形成」

- ② 長期間の過激・過剰な運動による成長障害、思春期発来遅延、性腺機能低下 Low Energy Availability 成人男性でも性腺機能は低下する！？
- ③ 大豆製品の長期間過剰摂取による低ゴナドトロピン性性腺機能低下症  
大豆イソフラボンは、分子構造がヒトのエストロゲンに類似し、エストロゲンレセプターに結合し作用を発揮する。  
厚生労働省：大豆及び大豆イソフラボンに関するQ&A ([mhlw.go.jp](http://mhlw.go.jp))
- ④ 豊臣 秀吉の鳥取城の兵糧攻め(1581年)：飢餓状態の兵士が粥をむさぼり食べ → 死亡 Why?  
ジョン万次郎(1841年)：捕鯨船に救助されたが、すぐには腹一杯食べさせてもらえなかった。Why?
- ⑤ 神経性やせ症での急激な栄養改善による低P血症では心不全をきたし、死にいたることもある！
- ⑥ 神経性やせ症では、まれにGerm cell tumorなどの脳内器質的疾患があるので、必ずMRI検査を！
- ⑦ 急性脳症・脳炎と誤診されるバセドウ病クリーゼ
- ⑧ 検査dataと臨床症状・所見が合わない場合には、検査方法、キットを変えて見る！例：マクロTSH血症
- ⑨ 「毎日毎日の夜尿、昼間遺尿」：尿管・膣異所開口、小陰唇癒合
- ⑩ 「毎日毎日の性器出血、帯下」：膣内異物
- ⑪ 矯正歯科治療が保険診療(小児慢性特定疾病)の適用になる疾患

2020年度 59疾患(GHD、ターナー症候群、ヌーナン症候群、軟骨無形成症など)

日本矯正歯科学会 <http://www.jos.gr.jp/>

衛藤 義勝	(財)脳神経疾患研究所先端医療センター 東京慈恵会医科大学名誉教授
青木 継稔	東邦大学 名誉学長 名誉教授
浅見 直	福祉法人長岡療育園
朝山 光太郎	東京家政学院大学健康栄養学講座
安次嶺 馨	沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団
阿部 敏明	あしかがの森足利病院
雨宮 伸	埼玉県社会福祉事業団 嵐山郷
荒川 浩一	群馬大学大学院医学系研究科
有阪 治	那須赤十字病院
飯沼 一宇	認定NPO法人 子どもの村東北
石川 豊	下関市医師会副会長・石川ファミリークリニック
泉 達郎	独立行政法人国立病院機構七尾病院小児科
市川 家國	信州大学
伊藤 三吾	篠原病院
伊藤 進	香川大学医学部小児科学講座
井上 謙吉	医療法人 日吉いのうえ小児科
猪股 弘明	いのまたこどもクリニック
伊予田 邦昭	福山市こども発達支援センター
岩田 力	東京家政大学
上田 一博	医療法人三生会 みちがみ病院
植田 浩司	
植地 正文	東京福祉大学社会福祉学部
内山 聖	新潟大学 名誉教授
衛藤 隆	東京大学名誉教授・大阪教育大学客員教授
江原 伯陽	赤ちゃん成育ネットワーク事務局エバラこどもクリニック
遠藤 文夫	くまもと江津湖療育医療センター
大澤 眞木子	東京女子医科大学名誉教授
大関 武彦	浜松医科大学 名誉教授
太田 孝男	琉球大学大学院医学研究科育成医学講座
大野 耕策	独立行政法人労働者健康福祉機構 山陰労災病院
岡田 知雄	神奈川工科大学応用バイオ科学研究部栄養科学生命科学科
岡田 真人	聖隷福祉事業団 法人本部
小川 實	小川クリニック
小田 慈	岡山大学名誉教授 新見公立大学副学長
加我 牧子	東京都立東部療育センター
門田 正担	春野うららかクリニック
金子 隆	すずき小児科
河 敬世	大阪府立母子保健総合医療センター
衣笠 昭彦	京都府立医科大学地域保健福祉行政システム学
熊谷 公明	横浜総合病院 小児科
黒川 徹	誠愛リハビリテーション病院
桑原 正彦	桑原医院
小池 健一	JA長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院
小泉 晶一	小泉クリニック
神津 玲子	神津小児科医院
河野 齊	福岡徳洲会病院
河野 陽一	タムス浦安病院
児玉 浩子	帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科
小宮山 淳	松本秀峰中等教育学校

近藤 直美	平成医療短期大学
七種 啓行	さいくさ小児科
齋藤 加代子	東京女子医科大学
坂口 祐助	坂口こどもクリニック
佐々木 望	埼玉医科大学 かわごえクリニック
重松 陽介	福井大学小児科
城 宏輔	すずき小児科
白幡 聰	北九州八幡東病院
新宅 治夫	大阪市立大学大学院医学研究科「障がい医学・再生医学寄附講座」
杉江 秀夫	常葉大学 浜松キャンパス 保健医療学部
杉本 徹	滋賀県済生会看護専門学校
鈴木 順造	(公財)福島県保健衛生協会 / 福島県立医科大学名誉教授
星加 明德	北新宿ガーデンクリニック
清野 佳紀	大阪病院
関口 茂	せきぐちクリニック
高嶋 幸男	国際医療福祉大学大学院教授 福岡/大川キャンパス
高田 五郎	仙台オープン病院
高橋 弘昭	千葉県療育センター
高橋 幸博	奈良県赤十字血液センター
高柳 正樹	帝京平成大学健康医療スポーツ学部
武谷 茂	久留米大学
立花 克彦	神奈川県赤十字血液センター
田中 敏章	田中成長クリニック
谷澤 隆邦	たにざわこどもクリニック
田原 卓浩	医療法人社団たはらクリニック
玉置 知子	兵庫医大遺伝
長 秀男	川崎市南部地域療育センター
土屋 滋	東北文化学園大学
津留 徳	つるのぼるクリニック小児科
寺崎 智行	吉備国際大学看護学科
戸苅 創	名古屋市立西部医療センター 新生児 医療センター
富和 清隆	東大寺福祉療育病院
富田 和巳	こども心身医療研究所
永井 利三郎	桃山学院教育大学教育学部(元大阪大学医学部)
中畑 龍俊	京都大学iPS細胞研究所
中村 肇	社会福祉法人 芳友
中村 安秀	甲南女子大学
新島 新一	順天堂大学練馬病院
西 美和	広島赤十字原爆病院小児科
仁志田 博司	東京女子医大
布井 博幸	愛泉会 日南病院
橋本 清	日本医科大学 名誉教授
濱岡 建城	宇治徳洲会病院 小児循環器・川崎病センター
浜崎 雄平	からつ医療福祉センター
早坂 清	
原 光彦	(元)東京家政学院健康栄養学科
廣津 卓夫	ひろつ小児科
福嶋 義光	信州大学
福永 慶隆	日本医科大学

藤村 正哲	大阪市母子医療センター
船戸 正久	大阪発達総合療育センター
古川 漸	実践女子大学保健センター
平家 俊男	兵庫県立兵庫総合医療センター
別所 文雄	日本医療科学大学保健医療学部
保科 清	山王病院小児科
細谷 亮太	聖路加国際病院
堀内 勁	聖マリアンナ医科大学 名誉教授
松石 豊次郎	聖マリア病院 小児総合研究センター・レット症候群研究センター
松尾 雅文	神戸学院大学 総合リハビリテーション学科
松平 隆光	日本小児科医会
眞弓 光文	福井大学
丸山 健一	群馬県立小児医療センター
水谷 修紀	東京医科歯科大学/川崎市北部地域療育センター
南 武嗣	みなみクリニック
宮田 晃一郎	重症障害施設オレンジ学園
麦島 秀雄	川越予防医療センター・クリニック
村上 睦美	東京都予防医学協会 保健会館クリニック
村田 光範	和洋女子大学保健センター
森川 昭廣	社会福祉法人希望の家 北関東アレルギー研究所
山口 洋一郎	やまぐち小児科
山城 雄一郎	順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座
山野 恒一	四天王寺和らぎ苑
山本 正士	社会福祉法人慈愛会医療福祉センター聖ヨゼフ園
山本 仁	聖マリアンナ医大 小児科
横田 俊平	フジ虎ノ門こどもセンター
横谷 進	福島県立医科大学 甲状腺・内分泌センター
横山 隆	医療法人 横山小児科医院 シルバー人材
吉岡 章	奈良県立医科大学
芳野 信	久留米大学高次脳疾患研究所
脇口 宏	高知地域医療支援センター

## 新しい会員をご紹介ください

どなたかいらっしゃいましたら下記アドレスにメールを頂けたら幸いです。  
どうぞよろしく願いいたします。

[yosh@sepia.ocn.ne.jp](mailto:yosh@sepia.ocn.ne.jp) 代表幹事 衛藤義勝

